

# 第8回

# にしのみや小学生フラッグフットボール大会

## 大会ルールブック

- 【主 催】 西宮市  
【運営協力】 関西学生アメリカンフットボール連盟  
日本フラッグフットボール協会  
西宮ブルーインズ  
アスレチック・リエゾン・西宮

## ◆ 出場条件

西宮市内に活動拠点を有した、小学生(4年生以上)で構成されるチーム(5人以上)  
ルールは、“王子ルール”を適用

フラッグフットボールのボールには  
小サイズ と 中サイズ が存在します。



QBクラブ社製  
(タオル型)

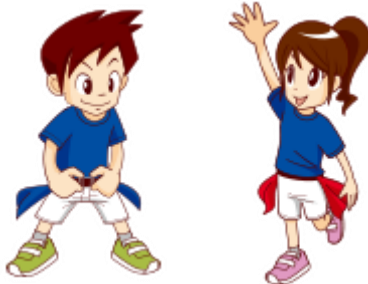
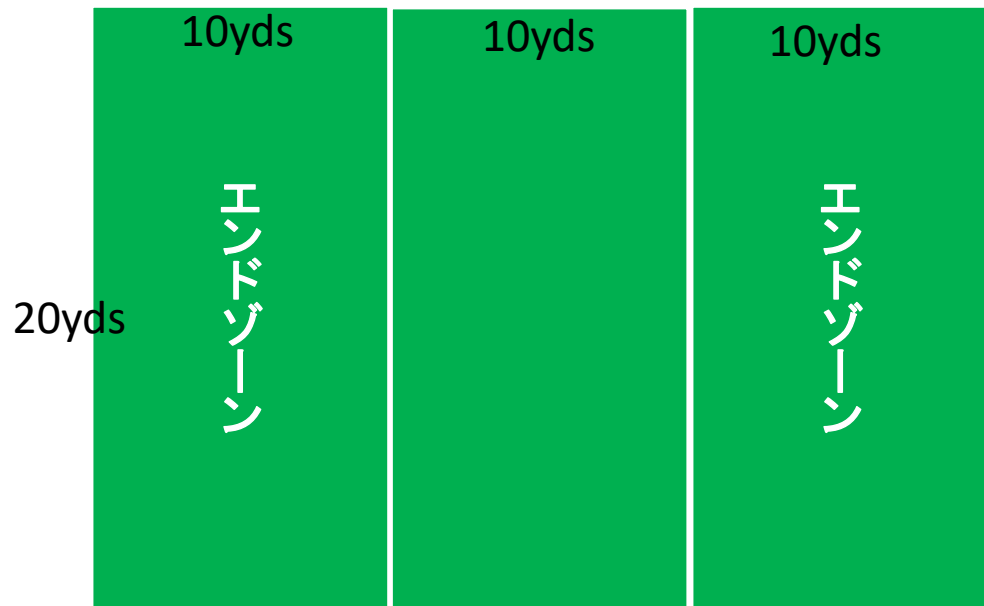
## ◆王子ルール（概要）

フラッグフットボールは、長方形のフィールドで行い、スクリメージラインによって分けられた5人対5人の選手が、ボールを持って走ったり、パスを投げたりして、相手のゴールにボールを持ち込み、得点を競うゲームです。

- 攻撃・守備に分かれて、5人対5人でプレーを行います。選手交代は自由です。
- 攻撃側はスナップでプレーを始め、相手のゴールを目指してランプレーやパスプレーを使い、前進します。
- 4回までのプレーで相手のゴールにボールを持ち込むと得点になります。1回のプレーでゴールまでボールを持ち込むこともできます。
- 守備側はボールを持った選手のフラッグを取るか、相手が投げたボールを奪って攻撃側の前進を止めます。
- 攻撃側が4回でゴールへ持ち込めないと、攻守が交代します。また、ボールをゴールに持ち込むと得点となり、攻守が交代します。



◆ フィールド



◆ 服装

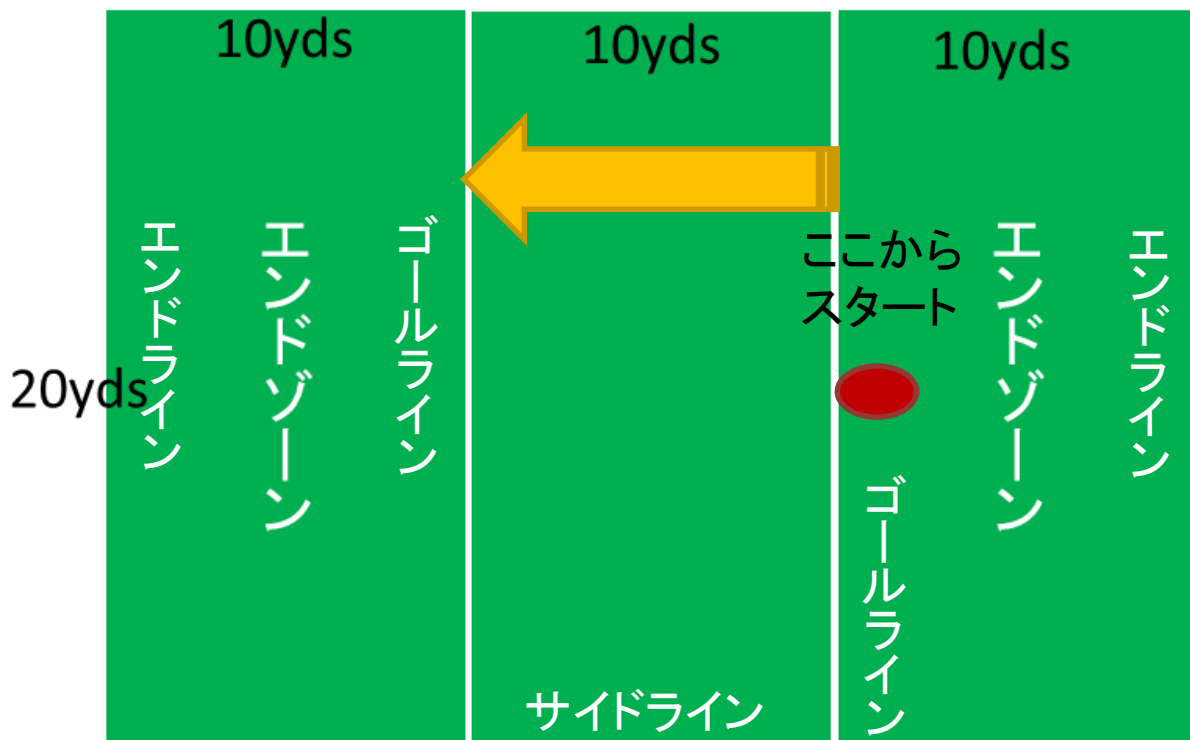
- ・運動のできる格好  
※体操服、ビブス
- ・運動のできる靴
- ・防寒・タオル・飲み物等
- ・フラッグは各チームで手配



◆ 試合の流れ

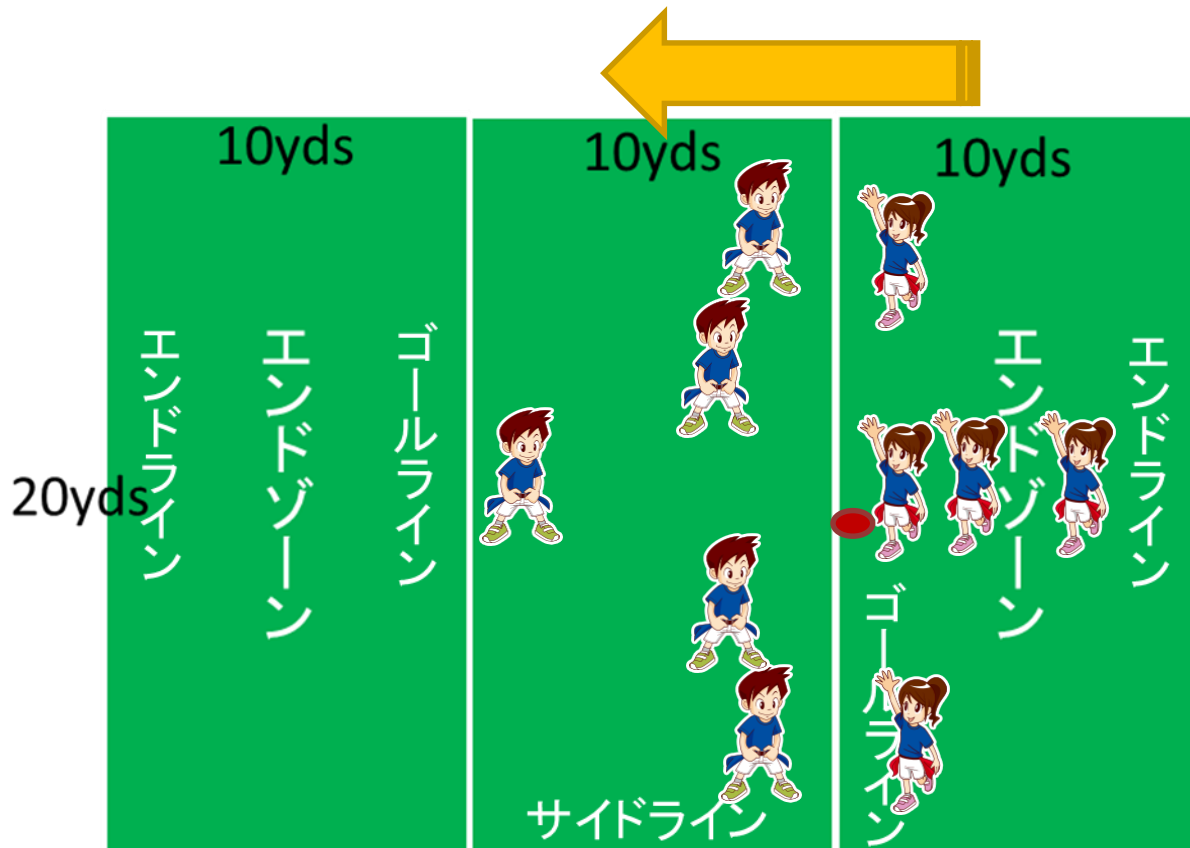
キャプテンがじゃんけんで先攻・後攻を決めます。

ボールは自陣のゴールラインから始め！



はじめは自陣  
0yds(ゴールライン)からスタートします。  
腰にしっかりフラッグを  
付けましょう！





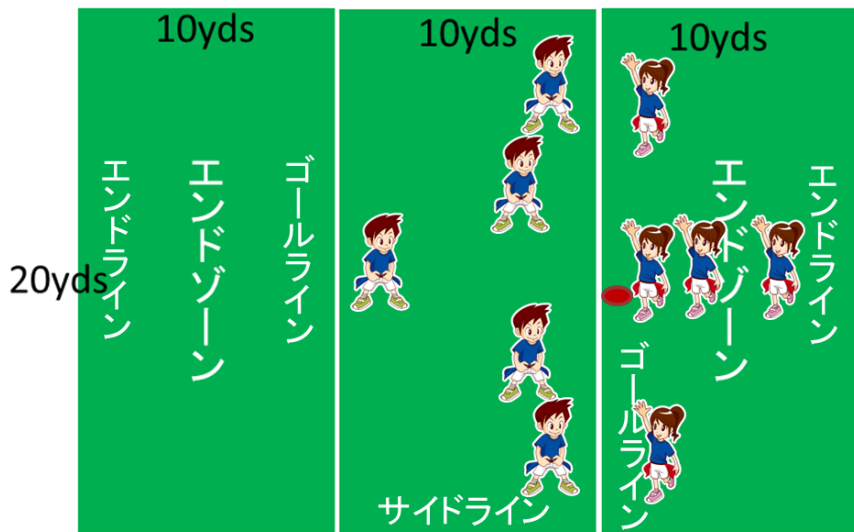
攻撃(オフェンス)と  
守備(ディフェンス)に  
分かれ  
1チーム5人ずつで  
試合を行うよ!  
交代は自由。

ゴールラインから4回攻撃できます。  
進んだところから次の攻撃へ  
4回攻撃して相手エンドゾーンにボールを持ち込むか、  
ボールをキャッチするとタッチダウン(得点)となります。

攻撃側はスナップでゲーム開始



スナップ“ダウン レディ ゴー”



- ◆攻撃(オフェンス)は1回の攻撃中に、前方向に1回ボールを投げられます。
- ◆守備(ディフェンス)は最初にボールが置かれている地点から中に入る事が出来ません(ノーブリッツ)また、ボール地点を越えていない相手のフラッグを取ることにはできません。



攻撃側はボールを持って走るか、1回の攻撃に1回だけ前方向のパスを投げる事が出来る。



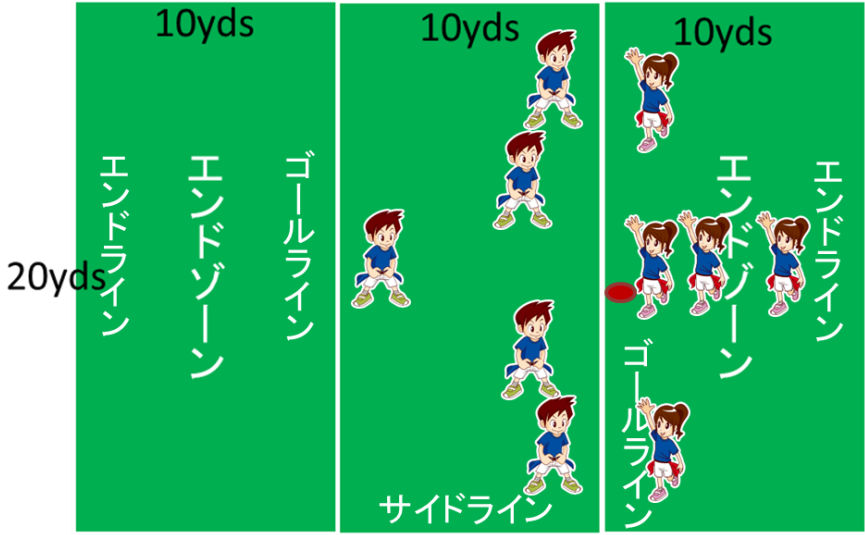
守備側はタックルの代わりに相手のフラッグを取る事で前進を阻む。取ったフラッグは手渡しで返しましょう。





◆ 攻撃側が守備側の  
エンドゾーンへボールを  
持って走るか、投げた  
ボールをエンドゾーン内で  
キャッチすると得点

タッチダウン 6点



攻撃側はブロックをして、ボールを持つ人を守ります。  
ただし、体の接触は一切禁止。  
ぶつかったり、押したりしてはいけません。



ブロック

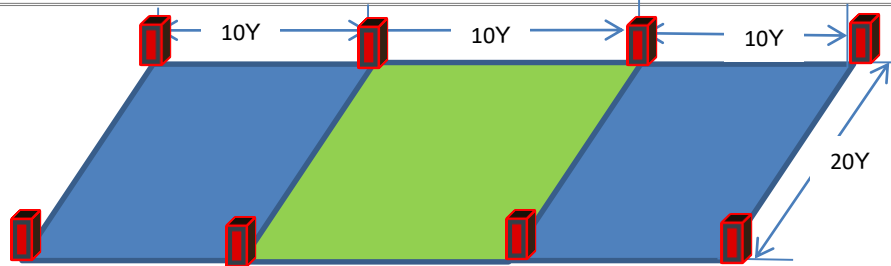
空中にある攻撃側が投げたボールを守備側が  
キャッチ(インターセプト)できます。



インターセプト



# 試合進行&ルール



## 【試合進行】

- ・コイントス(またはじゃんけん)で勝ったほうが前半の攻撃が陣地(後半の攻撃)を決めます。
- ・試合は攻撃 守備共に5人の選手で行います。  
(交代は自由。ただし選手が4人以下の場合は安全面の配慮から棄権試合とします)
- ・4回の攻撃でタッチダウン出来なかった場合は、攻守交代となり自陣ゴールラインからの攻撃を開始します。
- ・パスもしくはランでエンドゾーンに入るとタッチダウンになり6点が入り、ゴールライン5ヤード地点からトライフォーポイントとして1プレーを行います。(成功すると1点追加)(タイムUP後も実施)
- ・試合時間は前半10分 ハーフタイム(入替・休憩)2分 後半10分で行ないます。

## 【攻撃: オフェンス】

- ・攻撃は全ての選手がボールキャリアーになれます。但し、QBから直接センターへのボール渡しはボールの受け渡しがわからないので禁止。パスキャッチはOKとします。
- ・プレー開始時のボールは必ずフィールドの中央(センターライン)上に置きます。
- ・プレーの開始はセンターからクォーターバックへのスナップ(またの下から渡す行為)で開始します。
- ・攻撃側選手は、スナップと同時にスタートができます。
- ・スナップのあと10秒たっても、スクリーメージラインを越えなければホールテットとなり、プレビアシススポットから次の攻撃となります。
- ・前パスが失敗した場合、プレビアシススポットから次の攻撃を行ないます。
- ・エキステンジやピッチ・ハンドオフでボールを落とした場合もプレビアシススポットから次の攻撃を開始します。
- ・ボールのファンブルはファンブル地点から次の攻撃を実施します。
- ・攻撃側選手はボールキャリアーを守るためブロックができます。  
ブロックはひじを体にくっつけて手の平を前で開く姿勢で行いましょう。  
(ブロッカーは守備側選手を掴んだり、押さないようにしましょう)
- ・ボールキャリアーは接触防止のため、守備選手を避けましょう。
- ・**大人の指導者、関係者がプレーに関して指示することはお控えください。ただし、選手自身がプレーブック等を用いてプレー選択をすることは可能とします。**

## 【守備: ディフェンス】

- ・ボールを持った攻撃選手のフラッグを取って前進を止めます。
- ・守備はスクリーメージラインより後方へ離れて守備位置につきます。  
(スナップ後は最初にボールが置かれている地点まで進むことが出来ます)
- ・守備の選手は、スクリーメージラインを越えてのラッシュは出来ません。
- ・守備の選手は、攻撃側ブロッカーを避けてフラッグを取りにいけます。
- ・攻撃側選手を押し下したりつかんだりしてはいけません。
- ・**パスインターセプトはその瞬間に攻守交代となり、ボールをキャッチした選手はそのままエンドゾーンまで前進することができます。その途中でフラッグが取られた場合はその地点より攻撃を開始します。インターセプト後にそのままタッチダウンした場合は6点が加算されます。(トライフォーポイントの際にインターセプト後、タッチダウンした場合は2点が加算)**

## 【3ハンドルール】

取ったフラッグは相手に手渡ししましょう！  
審判へボールは手渡ししましょう！  
倒れている選手がいたら、手を差し出しましょう！

## 【気を付けよう！】

- ・接触プレー: 相手選手にぶつかる行為(つかむ・押す行為も含む)。
- ・スタート違反: 攻撃側はスナップ前のスタート、守備側はスナップ前の1ヤードラインを越える行為とスナップ後のスクリーメージラインを越えてのラッシュも禁止。
- ・パスの際、前パスは1回のプレー中に1回はできるが2回以上の前パスはできない。
- ・スクリーメージラインを越えての前パスを行った場合はその時点でプレーを中止し、プレビアシススポットから次の攻撃とします。
- ・攻撃側のスクリーメージラインを越えてのピッチやハンドオフはその場でホールテットとして、発生地点までの前進で次のダウンの攻撃とします。(インターセプト後も同様)
- ・ボールキャリアーのスピンは発生地点でホールテットとして、発生地点から次の攻撃とする。  
(インターセプト後も同様)(エンドゾーン内での発生は、ゴールラインから次の攻撃)
- ・攻撃側選手がフラッグを取られないよう、手で押さえたり取りにくいようにする事はできません。

スタート時の反則は注意のみ。接触は厳しく指導。(但し注意のみ)

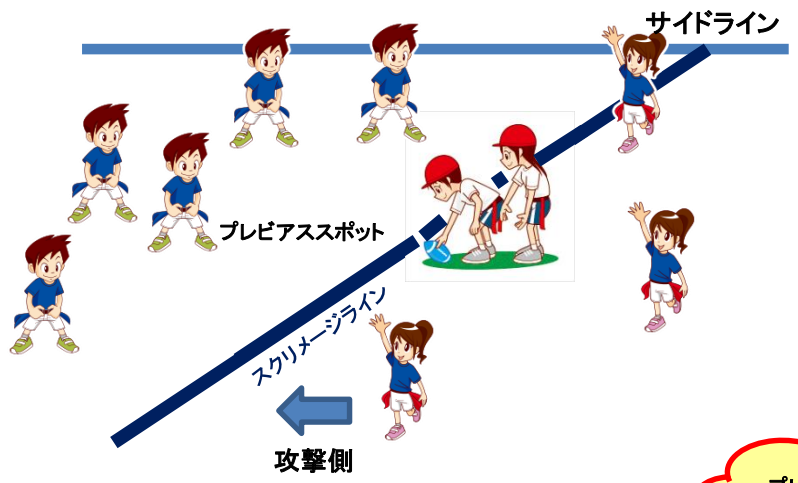
攻撃側に著しく上記の行為があった場合は、ダウンを1つ失う(次のダウンから開始)  
その場合4回目の攻撃に著しく上記の行為があった場合は攻守交替とします。  
守備側に著しく上記の行為があった場合は、攻撃側がプレーをやり直せます。  
判断は審判に従い、審判のジャッジに異議申し立てを行わない。

## ◆用語説明

- ・オフェンス: 攻撃
- ・ディフェンス: 守備
- ・ゴールライン: これを越えたらタッチダウン。また最初にプレーを開始する時はここにボールをおいて開始する
- ・ハーフライン: ゴールラインとゴールラインの真中のライン。これを越えたらまた4回の攻撃ができる。
- ・タッチダウン: 得点 地面にボールを付けなくても良い。6点
- ・トライフォーポイント: タッチダウンのあとのボーナスプレーでゴール前5ヤードから1回のみ行う(成功で1点)
- ・ニュートラルゾーン: 攻撃側と守備側を分ける安全地帯(ボールの先端から1ヤードの間に設ける。)
- ・プレビアシススポット: プレーははじめにボールが置かれている地点(スナップされた場所)
- ・スクリーメージライン: はじめにボールが置かれている地点の線
- ・スナップ: センターがボールを股の下から、QBに手渡しする行為
- ・ボールキャリアー: ボールを持っている選手。
- ・ハンドオフ: 手渡してボールを渡す行為。
- ・パス: 前方向に投げる行為。
- ・ピッチ: ボールを後方へ投げる行為。
- ・ブロック: 攻撃選手が守備選手の前に立ちただけで守備選手の進路を妨害する行為。
- ・ファンブル: ボールを落とす事
- ・ホールテット: ボールの前進が止まった行為(地点)
- ・ラッシュ: スクリーメージラインを越えてフラッグを取りに行く行為。
- ・インターセプト: 守備側が攻撃側のパスを空中で奪うこと。

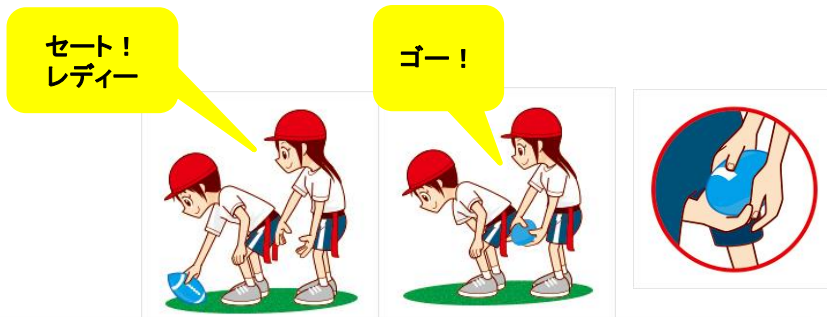
# ◆大会のルール

守備側



攻撃と守備は5人対5人で行ないます。交代は自由です

プレーは子供たちに考えさせよう！



攻撃の開始はスナップで行ないます。(ボールは地面につけてね)



ハドル: 作戦タイムでプレーを決めます！



ナイスプレーは『ハイタッチ！』



取ったフラッグは手渡しして返しましょう！



ハンドオフ



フェイク

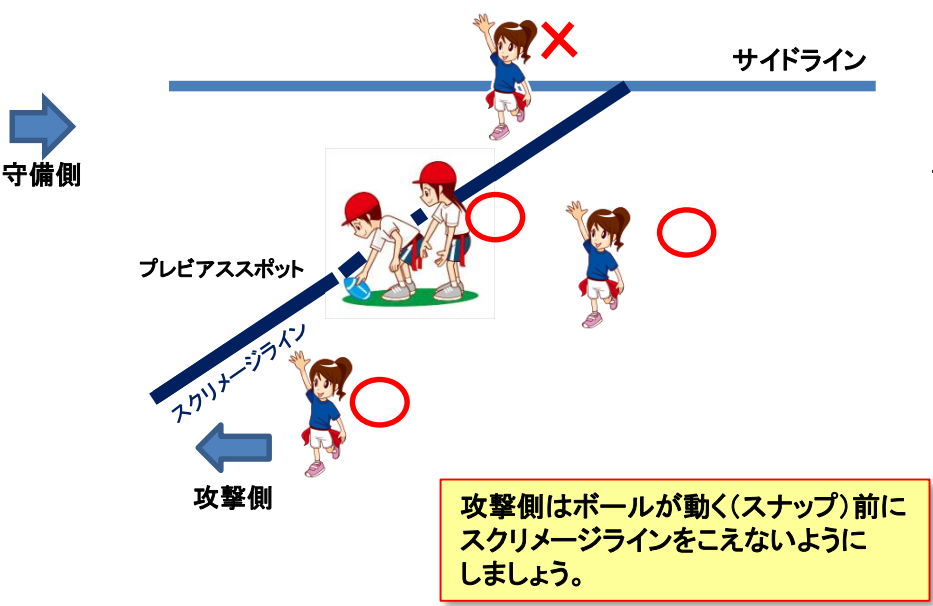


ブロック

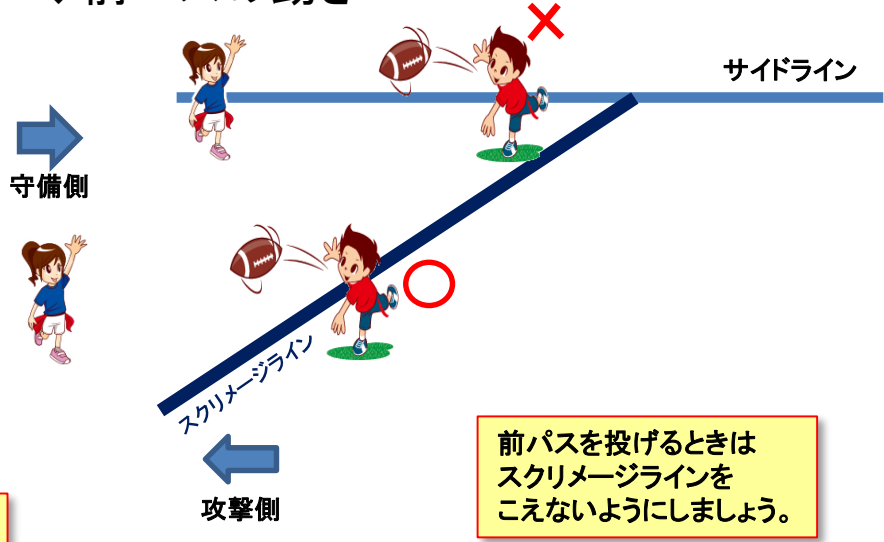


インターセプト

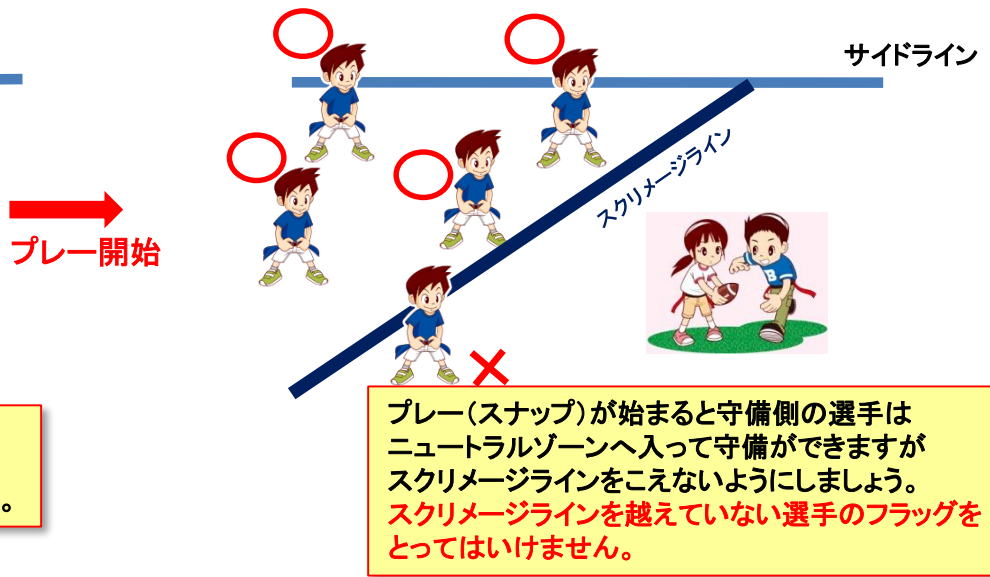
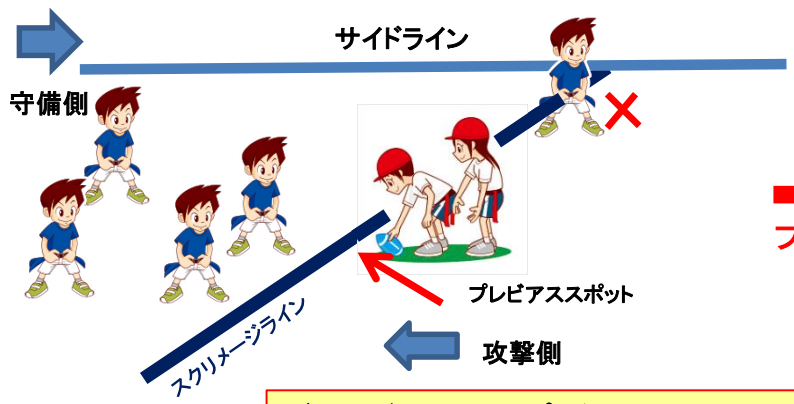
## ◆スタート時の攻撃側の動き



## ◆前パスの動き



## ◆スタート時の守備側の動き



# 用具について

## ボール



安全対策の見地から、硬いボール(モルテン等)の使用を見合わせ  
主催者が用意する試合球を使います。  
試合球仕様: molten社製 Q3C2500QB

## ユニフォーム・服装



各小学校等独自の体操服やオリジナル  
ユニフォームの着用  
ビブスの着用(相手チームと同じ色の上着を区別)

## フラッグ・ベルト



MIKASA社製フラッグ・ベルトを使用します。

## グローブ・スパイクシューズについて

使用用具による優劣がつくことを避けるため、原則着用を禁止します。

